



特集

いつもありがとうございます。 ～病院ボランティアのみなさん～

山口大学医学部附属病院では、病院ボランティア5団体が活動されています。

外来棟玄関にある再来受付機操作のお手伝いや乳幼児の見守り、院内図書館の書籍の貸し出しや管理、車いすなどの物品修理、小児科病棟での絵本の読み聞かせなど、様々な活動が行われています。なかには20年近くも活動を続けられている団体もあり、患者さんが少しでも安心して治療できるよう日々サポートしてくださっています。

病院ボランティアのみなさん、いつもありがとうございます。

2014 3月 再生・細胞治療センターに世界最高レベルのCPCシステムを設置



このCPCシステムは、これからの山口大学での肝臓・心臓を含め多くの疾患の再生医療の推進の基盤になる施設となります。

再生医療新法も成立し、「再生医療」が実現化に向けて加速度的に進んでいます。山口大学医学分野の特色と役割の一つとして、文部科学省のミッション再定義で「肝再生医療」が定義されており、医学部では再生医療実現化ハイウェイプロジェクト「培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲治療法の開発」(代表：坂井田功教授)を推進しています。この度、この研究において、ウイルス検体の取り扱いが可能なCell Processing Center(CPC)細胞調製施設及びアイソレーター(無菌環境保持装置)が必要となり、本院の再生・細胞治療センターに世界最高レベルのスペックを持つ新CPCシステムが設置されました。

News

山大病院NEWS



ホットなニュースをご紹介します

2014 1月 韓国の春海保健大学看護学科長らが来学



教育部 教育역량 강화사업
춘해보건대학교 간호학과 「전공관련 국제교류」
(CHOONHAE COLLEGE OF HEALTH SCIENCES-DEPT. OF NURSING)

1月29日に韓国の春海保健大学から、チョン・ヨンスン看護学科長及び学生ら13名が本学医学部保健学科を訪問されました。附属病院を備えた本学の看護学教育の取り組み等を視察され、両学の学生及び教員の資質向上と相互理解のため情報交換も行いました。本学保健学科からは清水学科長と守田看護学専攻長らが出席し、日本及び本学における看護学の教育課程について情報提供を行い、看護学実習室等を案内しました。本学の保健学科は積極的に国際化に取り組んでおり、本年9月には、本学がホスト校として「APAHIL2014」研修会を開催予定です。APAHILでは看護や健康科学の指導者を育成する目的で、アジア・オーストラリアの4カ国・5大学の学生が一同に集まり、合同研修や文化交流を行う予定です。

2014 2月 人命救助表彰式



放射線部の上原拓也診療放射線技師および森田慎吾診療放射線技師が、人命救助に多大な貢献をしたとして、2月3日(火)、病院長室において病院長表彰が執り行われました。この表彰は、平成26年1月に河川で溺水していた人に対し、迅速で的確な救命措置を行ったことをたたえ贈られるもので、田口病院長が表彰状を授与され、「本院職員の模範となる的確な対応への敬意並びに今後のさらなる活躍を期待する。」と述べられました。また、松永放射線部長、上田診療放射線技師長も同席し、2人の行動をたたえました。

ひつじ年から活動を始められて今年で12年目。その日集まった子ども達の年齢や季節にあわせて絵本や紙芝居を選んでいるそうです。

手遊びや歌も交えて、楽しい朗読会の始まりです。小児の患者さんにとって、病院はとて退屈な所です。笑顔あふれる時間をありがとうございます。



ひつじの会

特集

いつもありがとう!

病院ボランティアのみなさん



わかば会・やよい会

大きな病院では、職員も迷ってしまうことも。受付補助や経路の案内のおかげで、患者さんが迷われることなく目的の診療科に行くことができます。いつもご案内ありがとうございます。

わかば会の皆さんには20年以上お世話になっています。



すみれ会



すずらんの会

車いすのパンク修理やブレーキ調整などを中心に物品の修理をしてくださっています。

いろいろなナースのお仕事

新生児集中ケア認定看護師

新生児集中ケア認定看護師の三木砂織です。新生児集中ケア認定看護師とは、出生・入院直後から数日間の急性期の赤ちゃん、重篤な状態にある赤ちゃんの身体的ケアおよび神経学的発達の援助、親子関係形成を支援する役割を担っています。

2003年に新生児集中ケアが認定看護師分野に特定され、山口県内では5名、全国では200名を超える認定看護師が活動しています。本院の「地域母子医療センター」は2011年から「総合周産期母子医療センター」となり、宇部・山陽小野田地域だけでなく、山口県全体を対象に高度な医療を提供しています。体重1000g未満の超低出生体重児や超早産児のケア、脳低温療法、一酸化窒素吸入療法、膜型人工肺(ECMO)などの高度な新生児医療の中、少しでも家族がリラックスして、子どもとの新たな関係を築いていく過程を支援することを目標にしています。新生児という分野に特化しているため、活動の範囲は主にセンター内ですが、小児科や産科、リハビリなど、多くの部門と連携し、赤ちゃん達が元気に家庭に帰っていくことを日々考えています。周産期医療は多くの課題を抱えています。赤ちゃんのご家族、多くのスタッフに支えられ活動しています。そして、まさに「子宝」、赤ちゃんに癒されています。



山口大学特命ボランティアの活動について

近年の健康ブームや地域活性化と相まって、山口県内でも地域や市民マラソンへの参加者は年々増加の一途をたどり、空前のマラソン大ブームが起こっています。私たちは、地域のマラソン大会を安全かつ安心して楽しんでもらえるようにと、地元医師会や大会医務室と連携したボランティア活動を2年前から行っています。山口大学の学生を中心として山口大学附属病院ならびに、県内の病院職員と多職種でチームを結成し、質の高いボランティア活動を目指しています。

このため、学生ボランティアは事前に、ポケットマスク&AED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生法や災害時のトリアージ法、デジタル無線機の使用方法等の訓練を繰り返しています(写真1)。これまでに、下関海響マラソン(写真2)、萩城下町マラソン(写真3)、岩国錦帯橋ロードレースといった県内の複数の大規模マラソン大会に参加し、多くのランナーの救護に関わりました。

これからもマラソン大会で、山口大学特命ボランティアを見かけたら、ランナーと一緒に頑張って頑張っていますので、ぜひ声をかけてください。

【地域医療推進学講座 中村浩士】



写真1: マネキンとポケットマスクを使用した人工呼吸法の実習風景

写真2: 平成25年11月3日(日)下関海響マラソン2013
(大会参加者数1万2000人)写真3: 平成25年12月8日(日)第14回維新の里・萩城下町マラソン
(大会参加者数4,181人)

お知らせ

先進医療が認められました

平成26年1月1日付けで厚生労働省より、「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」(眼科)が先進医療として承認されました。

先進医療とは、日々研究・開発が進められている最新医療技術のうち、安全性や治療効果が確認され、さらに今後、保険診療への導入が検討されている医療技術のことです。本先進医療の詳細な内容は、眼科(0836-22-2518)へお問い合わせください。

新中央診療棟の工事について

新中央診療棟増築のため、平成26年2月から平成27年2月まで工事を行っています。大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願いします。

編集後記

今回の取材で多くの病院ボランティアさんにお会いしました。「患者さんがありがとうと言ってくれるのが喜びです」「楽しいから続けます」みなさん笑顔でお話してくださいました。なかでも、数十年ボランティアを続けている方とお話した時に、「ボランティアが私の生きがいのだから」と笑顔で語られる姿がとても印象的でした。ボランティアのみなさまへ感謝を込めて・・・4月号をお届けします。

編集担当(総務課総務係: K.T.、N.N)

すぐ使える
豆知識
コーナー

ハーブを使ったまめまめ情報

乾燥に負けない天使の輪!
ヘアリンスの巻

- 材 料: ジャーマンカモミールティー…100ml
リンゴ酢…大さじ1 ハチミツ…小さじ2
- 作り方: ①ティーポットに、通常の倍濃度のカモミールティーを入れる。
②①にリンゴ酢とハチミツを混ぜ入れ、茶こしてこして、容器へ移す。
- 使い方: シャンプー後、髪の毛と頭皮にたっぷり振りかけマッサージする。3分後、ぬるま湯ですすぐ。
※冷蔵庫で4～5日保存可能です。

※キク科のアレルギーのある人には合わない場合もあります
※使い続けていると、髪の毛が少し明るくなる場合があります

乾燥やストレスなどダメージでパサついた髪の毛に、セルフケアとは思えないくらいおと
しなやかさが戻りますよ～\(^o^)/



■発行者情報

企画発行: 山大病院だより編集委員会
事務担当: 山口大学医学部総務課総務係
TEL: 0836-22-2007
E-MAIL: me202@yamaguchi-u.ac.jp